2019

あいち平和行進ニュース あるく

２０１９．６．５．（ №５）　発行：あいち平和行進共同連絡会
TEL052-932-3219　FAX052-931-2651　愛知県原水協

4日（火）まとめ

- 常滑市→知多市→東海市　●行進参加　350人
- 沿道募金　28,739円
- ●ヒバクシャ国際署名　131　筆

「核も戦争もない世界を」被爆者の願い

常滑市役所出発集会

集会の開会あいさつでは、地域実行委員会を代表し地域原水協理事長の大久保さんから、「知多半島は、日本で最も早い非核宣言をした半田市がある地域です。常滑市はまだしていませんが、平和行進を通じて知多半島５市５町で変化を作り出したい」と決意が語られました。

常滑市福祉課の課長よりあいさつを受けた後、元原水禁事務局長の竹内さんからも賛同のあいさつを受けました。竹内さんは、知多半島で行う平和のための戦争展のとりくみ状況を紹介し、「ともに核兵器のない戦争のない世界を実現させましょう」と呼びかけられました。

広島県の呉海兵団で被爆し、93才になる藤井喜平さんが駆けつけ行進団を激励しました。「私は、原爆投下後の被爆地広島の一日を見た。核のない世界、戦争のない世界をつくるために今日一日頑張ってほしい。」と力強い激励をいただきました。

粘り強い自治体要請が変化を作り出す！

知多半島実行委員会では、行進に先立って全自治体である５市５町に要請をしています。
その結果は以下の通りです。

▼「ヒバクシャ国際署名」賛同：東浦町長、武豊町長、武豊町議会議長、半田市長、半田市議会議長
▼平和行進賛同：半田市議会議長
▼世界大会支持賛同：半田市長、半田市議会議長

核兵器廃絶への願いは一緒

●知多市長と自民会派の県会議員からメッセージ

昼食は、知多市が用意した勤労会館の部屋で休憩しました。昼食後に行われた東海市に向けての出発集会では、知多市長からのメッセージが寄せられました。「平和首長会議の一員として核兵器や戦争のない平和な世界」実現への願いが総務課長より代読されました。

また、佐藤県議会議員（自民党）からも賛同のメッセージが寄せられました。佐藤議員に依頼をした中平市会議員（共産党）は、「初めてお願いした数年前、『会派は違っても核兵器廃絶への願いは一緒』と賛同してくれました。いっそう核廃絶に力を尽くしたいです」と話されました。

**平和チンドンのみなさんと
行進を盛り上げるデコレーションカー**

●今日のこの人　今野アントニオ久さん

在日ブラジル人のアントニオさんは、神奈川県から平和行進を参加するために来ました。姉の住んでいる豊川市から何日間か参加します。私の住んでいたブラジルは非核平和地帯ですが、被爆国日本こそ核兵器のない社会をつくるべきとの思いで、行進にがんばります！

☆地域ケーブルテレビ「メディアスチャンネル」から取材を受けました!

６月５日のコース
瀬戸市→尾張旭市→名古屋市守山区
瀬戸市役所(9:30-10:15)　→尾張旭中央公民館(12:00-13:00)　→
大森東島公園(14:15-14:45)　→小幡駅(15:25-15:35)　→守山自衛隊正門前(16:15)　→
守山生涯学習センター(16:30-17:10)